

## 垂水共之先生退職記念祝賀会の御案内

謹啓 春寒の候、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、岡山大学教授、垂水共之先生には、来る平成二十五年三月三十一日をもちまして、本学を退職されることになりました。

先生は、昭和四十七年三月九州大学大学院理学研究科修士課程をご修了後、昭和四十八年三月まで同博士課程在学を経て、昭和四十八年四月広島大学理学部助手に就任されました。岡山大学へは昭和五十二年四月教養部講師に就任され、昭和五十五年十二月に教養部助教授、平成元年四月に教養部教授となられました。平成六年十月環境理工学部発足に伴い、環境理工学部教授となられ、その後平成十七年四月アドミSSIONセンター教授、平成二十二年四月大学院環境学研究科教授、平成二十四年四月大学院環境生命科学研究所教授となられ、今日に至っておられます。先生は多大な研究業績をあげられるとともに、一般教育、環境理工学部、大学院理学研究科、大学院自然科学研究科、大学院環境学研究科及び大学院環境生命科学研究所担当として学部学生並びに大学院学生の指導にあたられ、多くの有為な人材を社会に輩出されました。

垂水先生は統計科学、なかでも計算機統計学、統計教育の分野で活動を積極的に推進されてきました。この間、大型計算機上の統計プログラムパッケージの開発や移植にはじまり、パソコン上で稼働する統計ソフトウェアを日本で最初に構築されました。その後も、統計教育のための教科書や教材のソフトウェア化を行われ、統計解析ハンドブックシリーズや電子教科書の研究開発において優れた業績を残され、これらの一端を著書にまとめておられます。

先生の教育界並びに学界におけるご功績は多大であり、日本計算機統計学会会長をはじめ、日本統計学会、日本計算機統計学会、日本行動計量学会、日本数学会などにおいて、監事、大会委員長などの活動を通じて、学会の発展と後進の指導にご尽力なされました。さらに岡山大学においては、環境理工学部環境数理学科長、アドミSSIONセンター長など全学及び環境理工学部の各種委員会委員を務められ、指導力において卓越した手腕を発揮されました。

このたびのご退職にあたり、先生の日頃のご指導とご援助に感謝の意を表し、あわせて先生の今後のご健康となお一層のご活躍を祈念し、同封の要領によります退職記念祝賀会を行うことにいたしました。多くの皆様にご出席頂きますようお願い申し上げます。

平成二十五年二月吉日

謹白

垂水共之先生退職記念事業会

岡山統計研究会